

大麦の越冬後の管理

長岡農業普及指導センター

麦作情報No. 2

代表電話 0258-38-2554

E-mail ngt111440@pref.niigata.lg.jp

○今冬は例年に比べ降雪量が多いものの、今後、消雪が進んでいきます。消雪後は早急に排水対策を実施し、追肥を行いましょう。

○は種時期や排水条件等により生育にほ場間差が見られます。生育量確保のため、日平均気温が4～5℃以上になったら、消雪後追肥を実施しましょう。

今後の作業のポイント

- 1 早急に排水路の点検・整備
- 2 消雪直後追肥は消雪後遅れず必ず実施（表面水の排水後）
- 3 雑草対策、赤かび病その他病害防除の徹底

1 排水対策 — 再度排水の確認を！

○暗きよ栓は開いているか？

○明きよの水は排水口に流れているか？

消雪後ただちにチェック！

右図のように土塊が排水溝を塞いでいる箇所を補修し、排水を徹底する



2 越冬後の追肥

※追肥の重要性

・窒素成分は消雪後に多く吸収される。基肥や越冬前追肥の窒素は秋雨や融雪水で多く流亡するため、足りない分を越冬後の追肥で補う必要がある。

表 大麦の施肥時期別の窒素利用率（平成元年 北陸農試）

基肥	越冬前追肥	消雪直後追肥	出穂前追肥
28%	49%	78%	76%

利用率が低い（流亡しやすい）

利用率が高い（増収効果大）

追肥のポイント

- ・ 追肥は3回が基本（(1)消雪直後 (2)茎立期 (3)止葉抽出期）
- ・ 生育ステージを確認し、時期を逃さず施用する

(1) 消雪直後追肥（越冬で消耗した麦の回復）▶時期を逃さず必ず施用

○時期：日平均気温が4～5℃になると追肥の効果が現れる。

（時期のめやす 海岸部：3月上旬頃 内陸部：3月上～中旬頃）

○施肥量の目安：10a当たり 標準施肥量 窒素・カリ 各3kg

○実施前に排水対策を実施し地表水を排除してから施用すること。

重要

(2) 茎立期追肥（穂数の増加に効果大）▶生育量・葉色を確認してから施用

○時期：茎立期（全主茎の40～50%の稈長が2cmになった時期）

※ 消雪が3月20日以降となった場合は施用しない。

○施肥量の目安（10a当たり窒素施用量）：生育量、葉色に合わせて施用する。

m ² 当たり茎数	葉色（SPAD）	窒素追肥量
600本未満	42未満	2kg
	42以上	1～2kg
600本以上	42未満	1～2kg
	42以上	（施用しない）

追肥量は止葉抽出期追肥ができる程度にとどめる。

(3) 止葉抽出期追肥（収量に影響）▶必ず施用する

○時期：止葉抽出期（全茎の40～50%の止葉が出始めた時期、**出穂10～15日前頃**）

○施肥量の目安（10a当たり窒素施用量）：下表を参考に生育量、葉色に合わせて施用する。

m ² 当たり茎数	葉色（SPAD）	窒素追肥量
500本未満	45未満	2kg
	45以上	1～2kg
500本以上	45未満	1～2kg
	45以上	1kg未満

重要

3 雑草対策

○雑草が多いと減収し、イネ科雑草は麦角病の伝染源となる。

○地表水を排除したら、発生状況に応じて生育期処理除草剤を使用する。

4 病害防除

(1) 赤かび病

- 2回の薬剤防除を必ず実施する。

重要

赤かび病防除適期

1回目	2回目
開花始め～開花期 (出穂期の4～7日後)	1回目の7～10日後

- 適期刈取りを徹底する。
- 農産物検査規格の赤かび粒混入限度は0.0%（10,000粒に4粒以下）で、これを超えると規格外となるため、収穫前に発病状況を調査し、発生している場合は発生のないほ場とは別に収穫・乾燥・調製を行う。共乾施設では荷受け時に赤かび粒の有無を必ずチェックする。
- ※0.04%以上の被害粒混入があれば、別に乾燥・調製を行う（10,000粒に5粒以上で規格外となる）。

- 赤かび病菌の生成する毒素は人や家畜が大量に摂取すると嘔吐、下痢等を引き起こすため、製品に混入しないよう対策の徹底が必要。
- 症状：穂の病斑部にピンク色のカビを生ずる。出穂～乳熟期に雨が多く、高温の年に多発する。

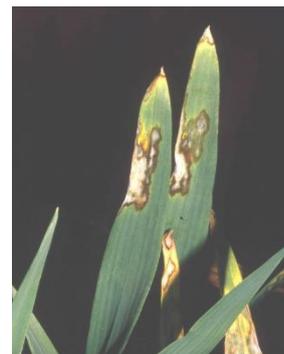


(2) 大麦雲形病

- 発病が確認されたほ場は、茎立期～出穂期に薬剤防除を行う。

症状等：葉や葉鞘に稲の葉いもちに似た紡錘形の病斑を生じる。積雪下でも感染・発病・蔓延する。

【雲形病の病斑】



(3) 麦角病

- 耕種的防除のみ：連作しない。イネ科雑草の防除等を徹底する。
- 収穫前に周辺のイネ科雑草の穂も含めて発病状況を調査する。
発病が認められた場合は、赤かび病と同様に対応する（10,000粒に5粒以上で規格外となる）。

症状等：感染した穂に蜜滴が形成され、暗褐色で角状の塊を突出する麦角が生ずる。